授業科目	科目概要・形式	配当年次
周産母子看護学演習Ⅱ	2 単位　60 時間　必修	1 年　後期

科目責任者	大村　倫子
担　当　者	大村　倫子、大井けい子、佐藤　愛

１．科目のねらい・目標

周産期看護の領域における政策、医療経済、業務管理や根拠に基づいた看護ケアを理解し、他職種との協働と高度なケアを提供するために、近年の子育て環境の理解や看護ケアの臨床応用妥当性について検討する。また、施設や看護実践の見学および事例検討を通し妊産褥婦や新生児の快適な環境や質の高いケアについて考察する。

２．授業計画・内容

１）ケア方法の臨床応用妥当性（大井）
- ・ケア方法の文献検索（2 コマ）
- ・文献クリティーク（4 コマ）
- ・EBM（Evidence-Based-Midwifery）（2 コマ）

２）周産期母子ケアの質評価（大井）（2 コマ）

３）周産期母子医療経済と母子保健政策（大村）（2 コマ）

４）周産期看護（助産）におけるプライマリケア（大村）（5 コマ）
- ・実践・倫理・相談・教育・調整
- ・保健医療チーム（他職種）との調整
- ・社会資源

５）院内助産院の運営（ゲストスピーカー）（1 コマ）

６）周産期母子のケアの質・環境設定（佐藤）（12 コマ）
国内外の周産期病院・施設見学を通し、質の高い助産管理・プライマリケア・アメニティなどを考察する。

３．教科書、参考書

必要に応じ紹介する。

４．成績評価方法

参加度、レポートにより評価する。

５．受講要件

なし

６．社会人学生に対する配慮

夜間開講、土曜開講に対応可能。

７．その他

ディスカッションができるよう、事前学習をして参加する。